

ノ村野ニノコレルナリ、

〔和漢三才圖會八十四〕木槿 朝開暮落花 花奴玉蒸 榘 藩籬草 榘 舜 日及 俗云無久

計、木槿字音訛○中略

按木槿花有數品單瓣而大者名舜英以賞之總木槿花朝開日中亦不萎及暮凋落翌日不再開寔

此槿花一日之榮也然其花僅一瞬故名舜之說者非也詩云有女同車顏如舜華者稱其艷美耳又

摘葉水少和接之甚黏用傳牝痔痛者良

盛短旋花、金錢花、壺盧、白粉草、牽牛花、黃蜀葵、荜荊、木芙蓉、扶桑、娑羅樹、聚花皆然而銀杏花一開即落

此此等花則木槿可謂耐久者矣自古相誤稱朝顏矣真朝顏牽牛花相謔矣

舜英 白槿單葉其花大似木芙蓉枝葉無異或採白槿花摘去葉假用海石榴枝葉儼如真海石榴

花美又能止瀉痢用花陰乾煎服或以淡未醬汁煮啜

〔古今要覽稿草木〕きはちす あさがほ むくげ 木堇

きはちす、一名ねむり、一名ほこ、一名ほこのから、一名あさがほ、一名夕かげぐさ、一名鏡ぐさ、一名
まの、めぐさ、一名むくげ、一名もくげ、一名もつき、一名きはち、一名かきつはき、一名ほんてん花

一名ほてん花は漢名を舜、一名舜華、一名舜英、一名舜木、一名麗木、一名木堇、一名榘、一名日及、一名
王蒸、一名日給、一名地蓮、一名朝生暮落花、一名花奴、一名朝華、一名朝菌、一名朝生、一名洽容、一名愛

老、一名虎子花、一名無窮花木、一名藩籬艸、一名奔籬、一名籬槿、一名牛不挨といふ此種は和漢共に
人家及び園圃にうへて多く藩籬となすものにして葉の狀扶桑に似て淡青色末尖りて楹又な

し、その花は仲夏より開そめて季秋に至る形頗る木芙蓉に似て小にしてその色淡紫のもの常
に多し又白色或粉紅或は深紅或は千葉或は單葉の數種ありといへ共すべてあしたに開そめ

て夕に萎みさらちり落る事なれば此華の性なるが故に漢書東方朔傳に木堇夕死朝榮といへり